

# 平成30年度 庄内支部 勉強会報告

日時：平成30年5月17日(木) 19:00～21:00

会場：庄内余目病院

参加者43名

本年度初回の1症例検討会(北庄内)が庄内余目病院にて開催されました。「1症例検討会」は1症例を急性期～回復期、または生活期までリレー形式で経過を追っていく内容で庄内支部では毎年開催しており、昨年度より北庄内、南庄内で分け、それぞれ異なる症例を取り上げる形で行っています。自身が携わる病期以外の取り組みを学ぶ機会にもなりますし、予後予測を含めた治療技術の向上、担当するセラピスト間の連携強化等を目的としています。今回「自宅で安全に生活する為に」と題し、脳梗塞により左片麻痺を呈した症例について 庄内余目病院リハビリテーションセンター 大須賀唯香先生に発表して頂きました。基本動作や歩行時の映像を使った解説は分かり易かったですし、合併症に心不全を呈する症例という点ではどの病期でも担当する可能性がある身近な内容だったのではないのでしょうか。現在進行形の治療過程を垣間見る内容はカンファレンスのような雰囲気もあり、グループワークでは積極的なディスカッションが行われました。今月末に自宅退院予定との事で、今後は介護保険領域にバトンが渡されます。当症例が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう医療面も含めた情報共有が重要であり、確実に連携していくことで我々理学療法士としての役割が繋がっていきます。次回の生活期編も注目したいと思います。(庄内支部 矢島慎也)





